

マルチリンガル教育センター アニュアルレポート 2024

2025.7.24./ 作成:マルチリンガル教育センター広報委員会

(1) 全学共通教育マルチリンガル教育科目

1. 概要

マルチリンガル教育センターは、大阪大学全学共通教育において、英語をはじめとする各国語やそれに関係する異文化理解についての教育を下記のように実践した。開講科目の決定、時間割の編成、教員の配置、シラバスの作成、成績管理等の業務は、センターに所属する教員で構成されたカリキュラム委員会とセンター教務係が主体となって実施した。

2. 第1外国語(英語):表1～3

全学部生を対象に第1外国語「総合英語」科目を実施し、またコンピュータ上での自主学習を中心とする「実践英語(e-learning)」科目では期末試験として TOEFL ITP を実施した。

3. 第2外国語／選択外国語／グローバル理解:表1・2・4・6

各学部が独自に指定するドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、朝鮮語、スペイン語、イタリア語の「第2外国語」科目と、それらの各言語に対応する演習「グローバル理解」科目を実施した。文学部と人間科学部の学生には英語、ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、ギリシャ語、ラテン語といった「選択外国語」科目も開講した。またドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語についてはさらなる語学の向上を望む学生向けに「第2外国語上級」も開講した。また学部生のうち留学生のみを対象とした「日本語」科目も実施した。

4. グローバル理解(特別外国語):表5

全学部生を対象に、外国語学部の専任教員の担当による広東語、モンゴル語、インドネシア語、ウルドゥー語、トルコ語、スウェーデン語、ポルトガル語、タイ語、ベトナム語、ビルマ語、ハンガリー語、デンマーク語の「グローバル理解(特別外国語)」科目を開講し、英語等のメジャーな言語に留まらない、真にグローバルな言語文化に関する教育を実施した。

5. その他の実施科目:表7～9

上記の主要科目に加えて、高度国際性涵養教育科目として、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語等の科目を実施した。また上記主要科目の中から再履修者専用の科目、さらには 2018 年以前の旧カリキュラムに対応した科目も別途実施した。

表(1)2024 年度に開講した「第 1 外国語」「第2外国語」「選択外国語」「グローバル理解」(1 年次)表

配当 年次	科目 区分	科目名	春～夏学期			秋～冬学期		
			開講数	受講者数	平均人数	開講数	受講者数	平均人数
1 年次	第 1 外 国 語	総合英語(Project-based English)	16	416	26.0	19	468	24.6
		総合英語(Content-based English)	21	778	37.0	20	700	35.0
		総合英語(Liberal Arts & Sciences)	77	3,260	42.3	80	3,205	40.1
		総合英語(Performance Workshop)	31	952	30.7	38	1,094	28.8
		総合英語(Academic Skills)	11	333	30.3	12	312	26.0
		総合英語(integrated course) I・Ⅲ・Ⅱ・Ⅳ	32	1,242	38.8	32	1,293	40.4
		合計	188	6,981	37.1	201	7,072	35.2
	第 2 外 国 語	ドイツ語初級 I・Ⅱ	29	1,014	35.0	29	1,003	34.6
		フランス語初級 I・Ⅱ	19	651	34.3	19	652	34.3
		ロシア語初級 I・Ⅱ	7	59	8.4	7	60	8.6
		中国語初級 I・Ⅱ	21	948	45.1	21	963	45.9
		朝鮮語初級 I・Ⅱ	1	21	21.0	1	19	19.0
		スペイン語初級 I・Ⅱ	2	46	23.0	2	43	21.5
		イタリア語初級 I・Ⅱ	1	16	16.0	1	17	17.0
		合計	80	2,755	34.4	80	2,757	34.5
	選 択 外 国 語	英語選択	5	154	30.8	5	166	33.2
		ドイツ語初級 I・Ⅱ 選択	2	50	25.0	2	51	25.5
		フランス語初級 I・Ⅱ 選択	1	48	48.0	1	45	45.0
		ロシア語初級 I・Ⅱ 選択	1	2	2.0	1	2	2.0
		中国語初級 I・Ⅱ 選択	1	40	40.0	1	39	39.0
		ラテン語初級 I・Ⅱ 選択	1	25	25.0	1	16	16.0
		ギリシャ語初級 I・Ⅱ 選択	1	9	9.0	1	3	3.0
		合計	12	328	27.3	12	322	26.8

グローバル理解	国際コミュニケーション演習(ドイツ語)	4	159	39.8	4	161	40.3
	地域言語文化演習(ドイツ語)	25	839	33.6	21	620	29.5
	国際コミュニケーション演習(フランス語)	19	655	34.5	14	509	36.4
	地域言語文化演習(フランス語)	-	-	-	-	-	-
	国際コミュニケーション演習(ロシア語)	3	39	13.0	2	14	7.0
	地域言語文化演習(ロシア語)	2	20	10.0	2	24	12.0
	国際コミュニケーション演習(中国語)	21	1012	48.2	15	715	47.7
	国際コミュニケーション演習(朝鮮語)	1	17	17.0	1	18	18.0
	国際コミュニケーション演習(スペイン語)	2	43	21.5	-	-	-
	地域言語文化演習(スペイン語)	-	-	-	2	42	21.0
	国際コミュニケーション演習(イタリア語)	1	16	16.0	-	-	-
	地域言語文化演習(イタリア語)	-	-	-	1	16	16.0
	合計	78	2,800	35.9	62	2,119	34.2

(表 2) 2024 年度に開講した「第 1 外国語」「第2外国語」「選択外国語」「グローバル理解」(2年次)表

配当 年次	科目 区分	科目名	春～夏学期			秋～冬学期		
			開講数	受講者数	平均人数	開講数	受講者数	平均人数
2 年 次	第 1 外 国 語	総合英語(Project-based English)	9	231	25.7	6	142	23.7
		総合英語(Content-based English)	8	286	35.8	7	205	29.3
		総合英語(Liberal Arts & Sciences)	49	2,002	40.9	36	1,361	37.8
		総合英語(Performance Workshop)	19	589	31.0	13	341	26.2
		総合英語(Academic Skills)	11	348	31.6	11	263	23.9
		合計	96	3,456	36.0	73	2,312	31.7
	第 2 外 国 語	ドイツ語中級	32	1,154	36.1	5	175	35.0
		フランス語中級	22	691	31.4	7	225	32.1
		ロシア語中級	7	70	10.0	2	23	11.5
		中国語中級	19	974	51.3	5	273	54.6

		朝鮮語中級	2	37	18.5	1	10	10.0
		スペイン語中級	3	81	27.0	1	19	19.0
		イタリア語中級	1	8	8.0	1	7	7.0
		合計	86	3,015	35.1	22	732	33.3
	選択外国語	英語選択	5	174	34.8	3	84	28.0
		ドイツ語中級選択	2	54	27.0	1	32	32.0
		フランス語中級選択	1	38	38.0	1	27	27.0
		ロシア語中級選択	1	8	8.0	1	6	6.0
		中国語中級選択	1	41	41.0	1	29	29.0
		ラテン語中級 III・IV選択	1	13	13.0	1	9	9.0
		ギリシャ語中級 III・IV選択	1	5	5.0	1	4	4.0
		合計	12	333	27.8	9	191	21.2
	グローバル理解	国際コミュニケーション演習(ドイツ語)	－	－	－	－	－	－
		地域言語文化演習(ドイツ語)	7	203	29.0	2	47	23.5
		国際コミュニケーション演習(フランス語)	2	49	24.5	2	48	24.0
		地域言語文化演習(フランス語)	2	36	18.0	－	－	－
		国際コミュニケーション演習(ロシア語)	1	3	3.0	－	－	－
		地域言語文化演習(ロシア語)	1	7	7.0	1	6	6.0
		国際コミュニケーション演習(中国語)	2	94	47.0	1	43	43.0
		地域言語文化演習(中国語)	－	－	－	－	－	－
		地域言語文化演習(朝鮮語)	1	11	11.0	1	10	10.0
		国際コミュニケーション演習(スペイン語)	1	16	16.0	－	－	－
		地域言語文化演習(スペイン語)	－	－	－	1	17	17.0
		国際コミュニケーション演習(イタリア語)	1	7	7.0	－	－	－
		地域言語文化演習(イタリア語)	－	－	－	1	7	7.0
		合計	18	426	23.7	9	178	19.8

総計			570	20,094	35.3	468	15,683	33.5
(表3) 2024 年度に開講した「実践英語(e-learning)」								
配当 年次	科目 区分	科目名	春～夏学期			秋～冬学期		
			開講数	受講者数	平均人数	開講数	受講者数	平均人数
1 年次	第1外国語	実践英語(e-learning 入門)	－	－	－	1	3,596	3596.0
2 年次		実践英語(e-learning 応用)	1	3,582	3582.0	－	－	－
(表4) 2024 年度に開講した「第二外国語(上級)」								
配当 年次	科目 区分	科目名	春～夏学期			秋～冬学期		
			開講数	受講者数	平均人数	開講数	受講者数	平均人数
2 年次	上級外国語	ドイツ語上級	1	4	4.0	1	3	3.0
		フランス語上級	1	8	8.0	1	2	2.0
		ロシア語上級	1	2	2.0	1	1	1.0
		中国語上級	1	8	8.0	1	7	7.0
合計			4	22	5.5	4	13	3.3
(表5) 2024 年度に開講した「グローバル理解(特別外国語)」								
配当 年次	科目 群	科目名	春～夏学期			秋～冬学期		
			開講数	受講者数	平均人数	開講数	受講者数	平均人数
指定なし	グローバル理解(特別外国語演習)	特別外国語演習(広東語)I	1	15	15.0	－	－	－
		特別外国語演習(モンゴル語)I	1	7	7.0	－	－	－
		特別外国語演習(インドネシア語)I	1	13	13.0	－	－	－
		特別外国語演習(ウルドゥー語)I	1	6	6.0	－	－	－
		特別外国語演習(トルコ語)I	－	－	－	1	38	38.0
		特別外国語演習(スウェーデン語)I・II	－	－	－	1	37	37.0
		特別外国語演習(ポルトガル語)I・II	1	14	14.0	1	5	5.0
		特別外国語演習(タイ語)I	－	－	－	1	17	17.0

	特別外国語演習(ベトナム語)I	1	4	4	－	－	－
	特別外国語演習(ビルマ語)I	1	6	6	0	0	0.0
	特別外国語演習(ヒンディー語)I	－	－	－	0	0	0.0
	特別外国語演習(ハンガリー語)I	－	－	－	1	26	26.0
	特別外国語演習(デンマーク語)I・Ⅱ	1	25	0	0	0	0.0
合計		8	90	11.3	5	123	24.6

(表6)2024 年度に開講した「日本語科目」

配当 年次	科目 区分	科目名	春～夏学期			秋～冬学期		
			開講数	受講者数	平均人数	開講数	受講者数	平均人数
1・2 年次	第2外国語	総合日本語	2	34	17.0	1	19	19.0
		専門日本語	2	31	15.5	2	25	12.5
	グローバル	多文化コミュニケーション(日本語)	4	38	9.5	3	33	11.0
合計			8	103	12.9	6	77	12.8

(表7)2024 年度に開講した高度国際性涵養教育科目

配当 年次	科目 区分	科目名	春～夏学期			秋～冬学期		
			開講数	受講者数	平均人数	開講数	受講者数	平均人数
2 年次以上	高度国際性涵養教育科目	ドイツ語初級Ⅰ(多言語学習用科目)	-	-	-	2	6	3.0
		フランス語初級Ⅰ(多言語学習用科目)	-	-	-	1	7	7.0
		ロシア語初級Ⅰ(多言語学習用科目)	-	-	-	1	4	4.0
		中国語初級Ⅰ(多言語学習用科目)	-	-	-	1	6	6.0
		ドイツ語言語文化演習(中級継続)	-	-	-	7	3	0.4
		フランス語言語文化演習(中級継続)	-	-	-	5	6	1.2
		ロシア語言語文化演習(中級継続)	-	-	-	1	1	1.0
3 年次以上		ドイツ語初級Ⅱ(多言語学習用科目)	3	3	1.0	-	-	-
		フランス語初級Ⅱ(多言語学習用科目)	1	1	1.0	-	-	-

		ロシア語初級Ⅱ(多言語学習用科目)	1	2	2.0	－	－	－
		中国語初級Ⅱ(多言語学習用科目)	1	3	3.0	－	－	－
		ドイツ語言語文化演習(中級継続)	2	1	0.5	－	－	－
		フランス語言語文化演習(中級継続)	2	2	1.0	－	－	－
		ロシア語言語文化演習(中級継続)	1	0	0.0	－	－	－
合計			11	12	1.1	18	33	1.8

(表8)2024 年度に開講した「再履修者向けクラス」

配当 年次	科目 区分	科目名	春～夏学期			秋～冬学期		
			開講数	受講者数	平均人数	開講数	受講者数	平均人数
1 年次	第2外国語	ドイツ語初級Ⅰ	-	-	-	2	49	24.5
		フランス語初級Ⅰ	-	-	-	1	25	25.0
		ロシア語初級Ⅰ	-	-	-	1	0	0.0
		中国語初級Ⅰ	-	-	-	1	26	26.0
	グローバル理解	地域言語文化演習(ドイツ語)	-	-	-	1	15	15.0
		国際コミュニケーション演習(フランス語)	-	-	-	1	6	6.0
		国際コミュニケーション演習(ロシア語)	-	-	-	1	0	0.0
2 年次	第1外	実践英語(e-learning 入門・応用)	1	241	241.0	1	541	541.0
	第2外国語	ドイツ語初級Ⅱ	3	57	19.0	2	11	5.5
		フランス語初級Ⅱ	1	42	42.0	-	-	-
		ロシア語初級Ⅱ	1	1	1.0	-	-	-
		中国語初級Ⅱ	1	48	48.0	-	-	-
		ドイツ語中級	-	-	-	3	80	26.7
		フランス語中級	-	-	-	-	-	-
		ロシア語中級	-	-	-	-	-	-
		中国語中級	-	-	-	-	-	-

	グローバル理解	国際コミュニケーション演習(ドイツ語)	－	－	－	4	10	2.5
		国際コミュニケーション演習(フランス語)	－	－	－	2	2	1.0
		地域言語文化演習(ドイツ語)	2	60	30.0	1	21	21.0
		地域言語文化演習(フランス語)	－	－	－	1	2	2.0
合計			9	449	49.9	22	788	35.8

(表9) 2024 年度に開講した「旧カリキュラム生(2018 年以前の入学者)向け実践英語」

配当 年次	科目 区分	科目名	春～夏学期			秋～冬学期		
			開講数	受講者数	平均人数	開講数	受講者数	平均人数
	第1外	実践英語	7	6	0.9	3	3	1.0
合計			7	6	0.9	3	3	1.0

(2) TOEFL ITP

1. 概要

マルチリンガル教育センターは、「実践英語(e-learning)」科目の期末テストとして TOEFL ITP を用いている。同科目は、原則として 1 年次生および 2 年次生の全員が履修する必修科目であり、TOEFL ITP の受験者も正規生だけで年間約 6800 人に達する。

2. 2024 年度の実施日程

春～夏学期／正規日程:6 月 29 日(土)、30 日(日)／追試:7 月 11 日(木)、16 日(火)

秋～冬学期:／正規日程:12 月 7 日(土)、8 日(日)／追試:12 月 19 日(木)、24 日(火)

3. 結果

1) 概観

2024 年度入学者 1 年次の平均点は 508.57 点と前年度入学者より 3.42 点上昇した。23 年度入学者 2 年次の平均点は、1 年次受験時より 13.73 点上昇して 518.88 点となり、学年平均として過去最高となった。本学における外国語能力の基準値とする 550 点以上取得者も 2 年次受験者では 20.54%となり、英語教育が一定の成果をあげていると言える。

2 年次受験者

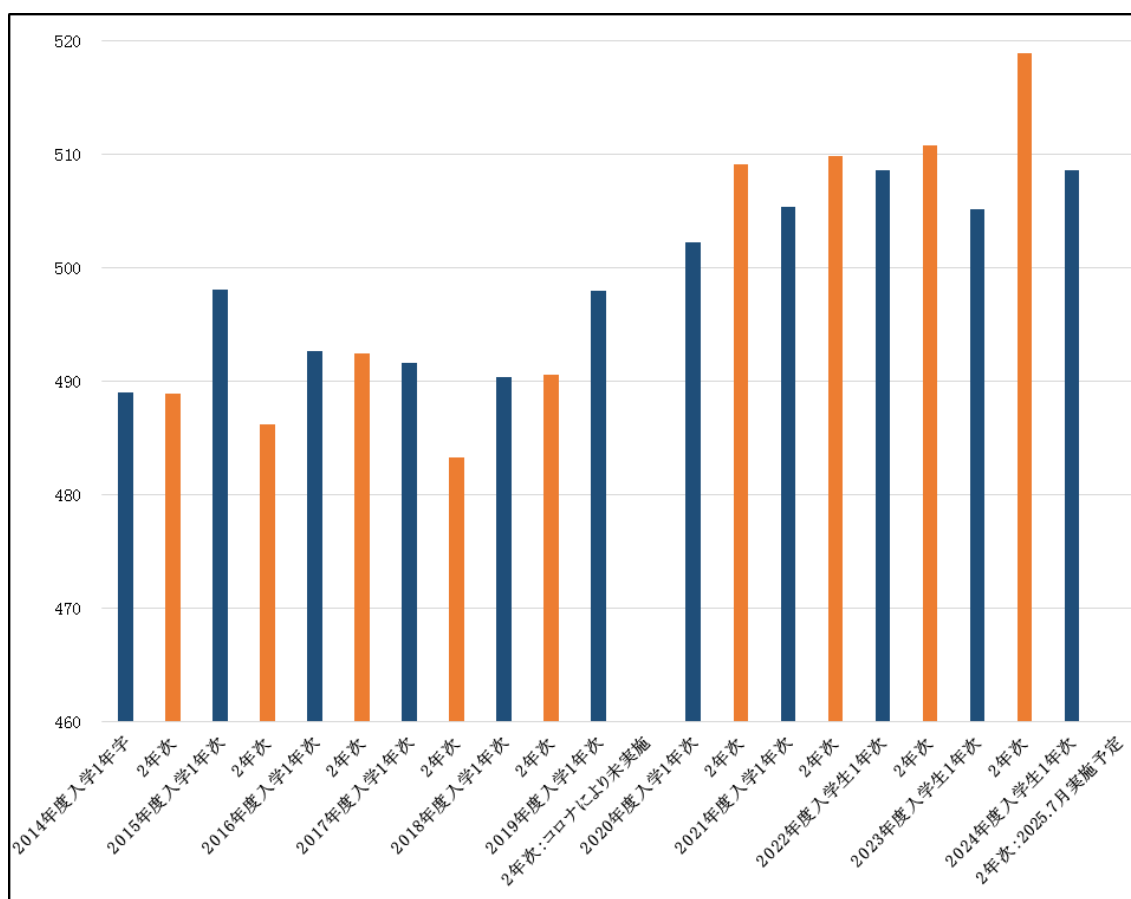
令和 6 年	3140	人中	550 点以上が	645	20.54%
令和 5 年	3239	人中	550 点以上が	527	16.27%

2) データ

TOEFL ITP 全学平均点の推移

TOEFL ITP 全学部平均点推移 2014年度入学者～2024年度入学者

2014年度入学生		2015年度入学生		2016年度入学生		2017年度入学生	
1年次	2年次	1年次	2年次	1年次	2年次	1年次	2年次
489.02	488.87	498.03	486.20	492.62	492.50	491.57	483.25
2018年度入学生		2019年度入学生		2020年度入学生		2021年度入学生	
1年次	2年次	1年次	2年次	1年次	2年次	1年次	2年次
490.37	490.55	497.94	コロナのため	502.26	509.17	505.39	509.81
2022年度入学生		2023年度入学生		2024年度入学生			
1年次	2年次	1年次	2年次	1年次	2年次		
508.58	510.80	505.15	518.88	508.57	2025.7月実施予定		



(3) ESAP 教材開発チーム

総合英語における学習教材の使用・改善

前年度に引き続き、これまでに作成した科学・工学系の単語・複合語教材を春学期に、コロケーション教材を秋学期にそれぞれ、2 年次の総合英語授業の副教材として使用した。それぞれの学習教材とテストは CLE 上で専用コースサイトを作成し、学習および受験を行うことが出来るようになっている。対象授業は、プロジェクトメンバー2 名の担当する 5 クラス、春夏学期（168 名）、秋冬学期（160 名）であった。学習後アンケート（前期 n=94、後期 n=56）では、前期の回答者のそれぞれ 82%、84% が教材の利用を有益だと考えており、後期は 48%、73% であった。この結果から、これまで学習してきた単語よりもコロケーションの方が学習者の意識を高めることに貢献したことがわかる。また、アンケートでは、改善できそうな点を聞いており、この情報を元に今後の教材開発を進めたい。

学習教材開発についての検討

前年度に引き続き、ESAP 教材開発チームでは開発の方向性について検討を行い、昨年度検討した書き言葉に対応する話し言葉の表現集の作成に関しては、適切なデータの入手が困難であることから、開発を断念し、既存の単語・コロケーションの教材を発展させていく方向に舵を取った。具体的には、既存の単語・コロケーション教材は、科学・工学分野の基礎的なものを中心にしており、専門性がさらに高いものも次のステップとして必要ということで、分野にまたがる基礎的な科学・工学五位よりも専門性の高い単語・コロケーション教材の開発を進めることに決定した。

専門性が高くなると分野を絞り込むことが必要で、検討の結果、医学・薬学とコンピュータ科学の単語・コロケーション教材から着手することにし、論文データベースを分析し、両分野に特徴的な単語を抽出したのち、既存の教材に含まれる単語・コロケーションや専門性の高すぎるものを削除する作業を行なった。残念なことに、予算の配分の時期の関係で、プロジェクトメンバーが入れ替わることとなったため、リスト作成・精査・選別の作業を進めるところまでで、教材作成に関しては、新年度の新規メンバーで改めて検討することとした。

(4) OU マルチリンガルプラザ

1. 概要

OU マルチリンガルプラザは、英語・多言語・および外国語としての日本語の学習を対象に、課外の自律的な学びを支援する施設として、2022 年 4 月に豊中キャンパス・サイバーメディアセンター (現・D3 センター) 豊中教育研究棟 4 階に開室された。また、2021 年度には、吹田キャンパス IC ホール 2 階に分室が開室された。

OU マルチリンガルプラザでは以下のようなサービスを実施している。

- ・自習スペースとしての施設の開放
- ・大阪大学で専攻語として学べる 25 言語の参考図書の配架
- ・言語学習ポートフォリオの発行、配布
- ・会話練習パートナーとのセッション

(英語・日本語・中国語・韓国語 1 セッション各 20 分)

- ・言語学習アドバイジング
- ・留学生等を対象とした日本語チュータリング
- ・言語学習ポートフォリオワークショップ (日本語学習・多言語学習)
- ・TA/TF の企画・進行による、言語学習および多文化理解に関するイベントの開催

また、ウェブサイト・X (Twitter)・Instagram・KOAN/マイハンダイの掲示板でイベント・ワークショップや会話練習の利用者の募集のほか、多言語学習や多文化理解に関する情報を発信した。これに加え、令和 5 年度より LINE のオープンチャットを開設し、イベント・ワークショップや会話練習の利用者の募集を行っている。

2. 2024 年度の運営状況

2024 年度は、10 時から 15 時までの開室時間で運営を行った。ワークショップやイベントは基本的にすべて施設内での対面方式で実施した。ただし、会話練習では、希望によりオンラインでのセッションも実施したほか、日本語チュータリングはオンラインのみで実施した。

豊中と吹田のそれぞれの施設において、今年度実施したイベントやワークショップは以下の通りである。

・豊中

- ①英語、日本語、中国語、韓国語の会話練習
- ②日本語学習アドバイジング
- ③日本語能力試験対策ワークショップ
- ④TA/TF 企画による多言語・多文化理解を促進するイベント

- ・関西で世界の料理を食べてみよう！
- ・世界の料理を知ってみよう！
- ・あなたもマルチリンガルになろう！
- ・世界のお菓子大集合！
- ・世界の文学作品を読んでみよう！
- ・世界の映画を観てみよう！
- ・世界の音楽を聴いてみよう！
- ・世界の祝祭日を知ってみよう！

- ⑤TA/TF 企画による日本語グループ会話「日本語サロン」
- ⑥マルチリンガル教育センター派遣教員によるワークショップ

- ・英文メールを書こう①&②

・吹田

OU マルチリンガルプラザ IC ホール分室（OMPIC）は、日本語を学ぶ留学生および研究員を対象とした日本語グループ会話「日本語サロン」を実施した。主に吹田キャンパスで研究する理系の留学生と研究員の参加があった。

・オンライン

留学生等を対象とした日本語チュータリング

- ・他部局主催の言語学習に関するワークショップの開催場所提供

手話カフェ



写真 1: 25 言語の参考図書



写真 2: TA/TF 企画による多言語・多文化理解

イベント（「世界のお菓子大集合！」）



写真 3: 日本語学習ワークショップの様子



写真 4: 手話カフェ

2024 年度のサービス利用者数は、延べ 1204 名（春夏学期 624 名、秋冬学期 580 名）であった。過去の年度も含めた、利用者の利用目的別内訳は表 1 の通りである。

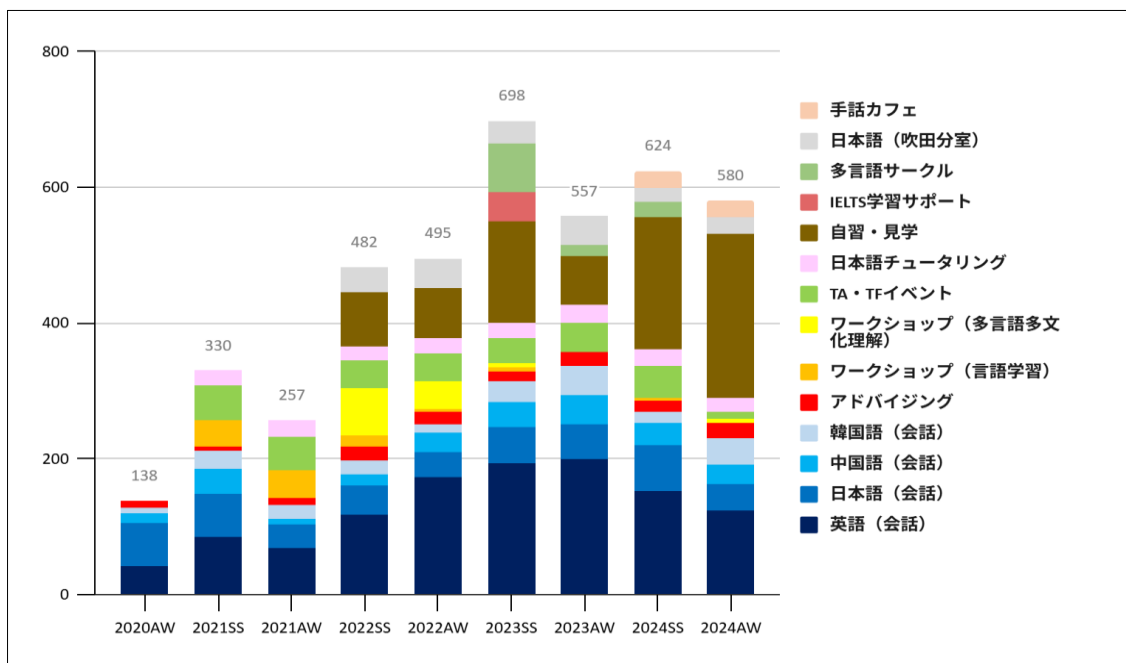


表 1 来室者の利用目的別内訳

会話練習においては、英語運用能力の向上が全学的な課題であること、そして英語会話練習へのニーズが高いことから、これまで、年度ごとに少しずつ英語のセッション数を増やしてきた。2024 年度は、春夏・秋冬学期ともに、学期途中より新規の会話練習パートナーを雇用し、最終的に週 15 セッションの実施となった。2023 年度と比べて利用者数が減少しているのは、春夏・秋冬各学期の開始当初の実施セッション数が 2023 年度よりも少なかったためであり、学期を通して 9 割超という高い稼働率を維持した。

2024 度は、対面および Zoom によるハイブリッド形式でのサポートを実施した。言語・参加形態別の参加者数は表 2、表 3 の通りである。表が示すように、対面での利用者は約 7 割であった。一方、会話練習では、利用者の希望により、豊中キャンパスの施設内での対面セッションもしくは Zoom でのオンラインセッションを実施しているが、他キャンパスからのオンラインでの利用者が一定数の割合みられ、ハイブリッド形式でのサポートの意義があったといえる。

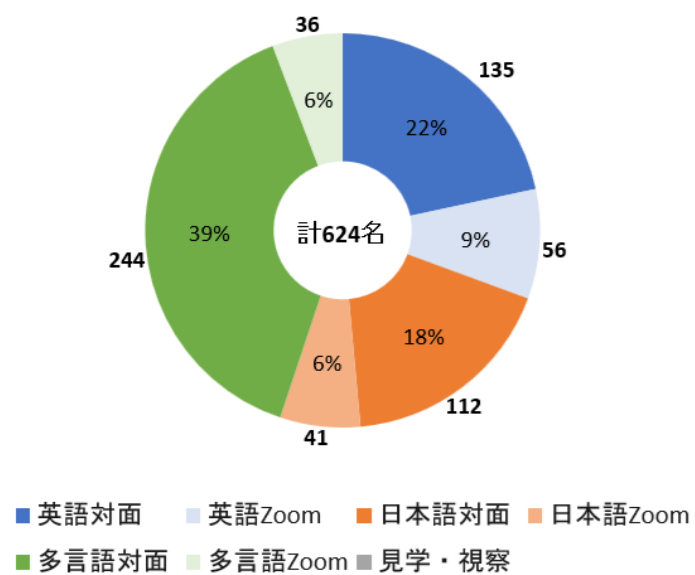


表 2. 2024 年度春夏学期の言語・参加形態別別利用者数

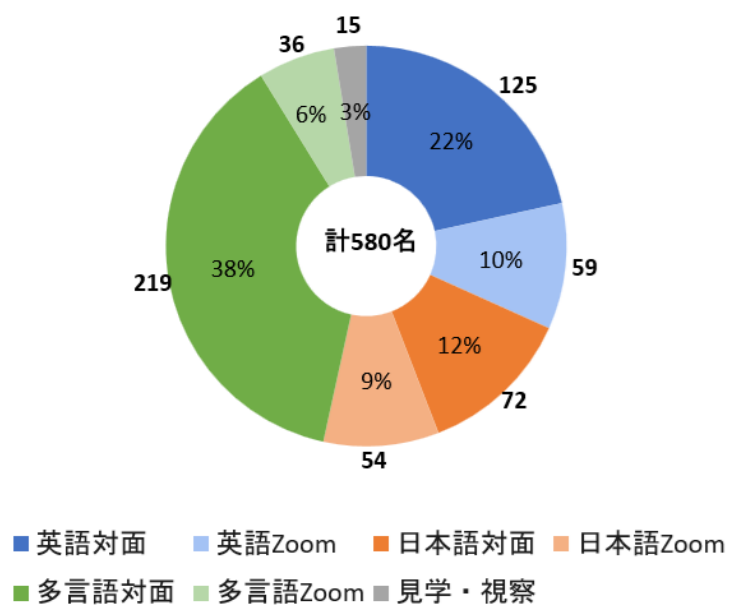


表 3. 2024 年度秋冬学期の言語・参加形態別別利用者数

イベント・ワークショップや会話練習などのプラザでのサポートについての告知には、KOAN/マイハンドアイの掲示版、X、Instagram のほか、LINE のオープンチャットを利用した。このうち、LINE のオープンチャットでは、会話練習の前日・当日キャンセルにより空いてしまったセッションの情報を発信しているが、これにより、新たな予約が入るようになり、空きセッションが減り、会話練習の稼働率が大きく向上した。また、オープンチャットでのワークショップや会話練習の情報の発信により、リピーターの利用者が増加している。

3. 多言語学習支援ネットワークへの参加

現在、大阪大学内には、OU マルチリンガルプラザにもさまざまな言語学習支援や多言語・多文化の交流促進のための取り組みが行われているが、それらの活動の趣旨や日時が重複していたり、それぞれの活動が個別で実施されていたりすることにより、活動の情報の共有がうまくなされていないという課題があった。そこで 2022 年度に国際教育交流センター主導で「学習・学修支援、多言語・多文化交流促進に関する情報共有・意見交換会」が立ち上げられ、OU マルチリンガルプラザ運営スタッフもメンバーとして参加している。令和 6 年度には、2 回のミーティングがオンラインで開催され、各学習支援サービスの担当者が集い、意見と情報の交換が活発になされた。この時の情報をもとに、学内の言語学習支援サービスを総合的に案内するためのブックレットが作成され、学内に配布された。また、大阪大学内のデジタルサイネージ「O+PUS」にて広報動画が放映された。次年度以降もこのネットワークを活かして、より有機的な言語学習支援に取り組む予定である。

4. ソーシャルインパクト創出支援事業

2024 年度 11 月「大学の国際化によるソーシャルインパクト創出支援事業」に大阪大学の「「地域に生き世界に伸びる」社会価値創出を目指す多文化『共育』事業」が採択されたことに伴い、3 キャンパスで活動を展開している全学の学習支援グループのネットワークと他部局との連携を強化し、正課外で多文化共修を支える学習支援の場として大阪大学の国際化と地域活動にも貢献していく予定である。2025 年度からの活動に向けて、OU マルチリンガルプラザの事務補佐員（非常勤職員）の新規雇用を行い、自律学習ライブラリーに多文化共修関係図書を備え、日本語・多言語の自律学習教材を補充した。

(5) 各種 FD

マルチリンガル教育センターでは非常勤講師を対象として下記の FD 研修を行った。

1. 2024 年度春～夏学期 非常勤講師 FD 研修（第 1 回）

【実施主催】マルチリンガル教育センターカリキュラム委員会

【研修事務担当】マルチリンガル教育教務係

【目的】 本学において授業を実施するにあたり、授業計画の参考となる事項について知ってもらう。

【内容】『授業における生成 AI の利用について』（オンデマンド動画）視聴による。現在、生成 AI の利用が急速に広がっていることを受け、学生の生成 AI の利用状況を概観して、それを踏まえた授業設計のポイントを整理するとともに、教員が授業設計や評価等の場面で生成 AI をどのように活用できるかについても紹介するもの。

【対象者】2024 年春～夏学期マルチリンガル教育科目担当の非常勤講師

【実施期日】6 月 3 日（月）～20 日（木）

【受講状況】※7 月 4 日時点 受講対象者：97 名／受講者：83 名（85.6%）

2. 2024 年度春～夏学期 非常勤講師 FD 研修（第 2 回）

【実施主催】マルチリンガル教育センターカリキュラム委員会

【研修事務担当】マルチリンガル教育教務係

【目的】1. 本学において授業を実施するにあたり、障がい学生支援・学生相談に関する本学での取り組みについて知っていただく。2. 本学において授業の成績登録を実施するために、その登録方法や設定等についてより詳しく知っていただく

【内容】下記、2つの研修内容よりいずれかを選択いただく

1. 新任教員研修プログラム『障がい学生支援』（オンデマンド動画）
2. Excel 等を使用した成績登録方法について、説明動画を視聴する（オンデマンド動画）

【対象者】2024 年春～夏学期マルチリンガル教育科目担当の非常勤講師

【実施期日】7 月 1 日（月）～19 日（金）

【受講状況】※7 月 31 日時点 受講対象者：97 名／受講者：84 名（86.6%）

3. 2024 年度秋～冬学期 非常勤講師 FD 研修（第 1 回）

【実施主催】マルチリンガル教育センターカリキュラム委員会

【研修事務担当】マルチリンガル教育教務係

【目的】 本学において授業を実施するにあたり、授業計画の参考となる事項について知ってもらう。

【内容】 「生成 AI を教育でどう活用するか？」(オンデマンド動画)の視聴。現在、生成 AI の利用が急速に広がっていることを受け、学生の生成 AI の利用状況を概観して、それを踏まえた授業設計のポイントを整理するとともに、教員が授業設計や評価等の場面で生成 AI をどのように活用できるかについても紹介するもの。

【対象者】 2024 年秋～冬学期マルチリンガル教育科目担当の非常勤講師

【実施期日】 11 月 1 日（金）～20 日（水）

【受講状況】 ※12 月 11 日時点 受講対象者：96 名／受講者：80 名 （83.3%）

4. 2024 年度秋～冬学期 非常勤講師 FD 研修（第 2 回）

【実施主催】 マルチリンガル教育センターカリキュラム委員会

【研修事務担当】 マルチリンガル教育教務係

【目的】 1. 本学において授業を実施するにあたり、アンコンシャスバイアスについて理解を深めていただく。2. 本学において授業の成績登録を実施するために、その登録方法や設定等についてより詳しく知っていただく

【内容】 下記、2 つの研修内容よりいずれかを選択いただく

1. アンコンシャスバイアス研修（動画・もしくは資料）
2. Excel 等を使用した成績登録方法について、説明動画を視聴する（動画）

【対象者】 2024 年秋～冬学期マルチリンガル教育科目担当の非常勤講師

【実施期日】 2025 年 1 月 10 日（金）～2025 年 2 月 10 日（月）

【受講状況】 ※2025 年 3 月 4 日時点 受講対象者：94 名／受講者：81 名 （86.1%）

各言語教育推進部会においても、下記の FD 活動が行われた。

1. 外国語教科書の特注取寄せに関する生協との協議（第 1 回）～（第 4 回）

日時：2024 年 4 月 12 日、7 月 2 日、2025 年 1 月 6 日、3 月 19 日

会場：メールによる協議

実施主催：朝鮮語部会

参加者：各 2 名～3 名

2. 2025 年度カリキュラムの総合的検討（第 1 回）～（第 2 回）

日時：2024 年 8 月 6 日、2025 年 2 月 7 日

会場：言語文化 B 棟 朝鮮語研究室

実施主催：朝鮮語部会

参加者：各 1 名

3. 学生用図書の選定（第 1 回）～（第 2 回）

日時：2024 年 8 月 19 日、8 月 20 日

場所：言語文化 B 棟 朝鮮語研究室

実施主催：朝鮮語部会

参加者：各 1 名

4. 中国語初級講義の見学ならびに教授法に関する意見交換

日時：2024 年 11 月 12 日、11 月 15 日

会場：共通教育 A205、C401

実施主催：中国語部会

参加者：6 名

5. フランス語共通テスト作成会議①～③

日時：2024 年 12 月 5 日、12 日、19 日

会場：言語文化 B 棟 H322 号室

実施主催：フランス語部会

参加者：各 5 名

6. フランス語共通テスト実施（および次回実施に向けて検討）

日時：2025 年 1 月 8 日

会場：言語文化 B 棟 H322 号室

実施主催：フランス語部会

参加者：5 名

(6) その他

●マルチリンガル教育連絡協議会

日 時：2024 年 9 月 26 日（木） 13：30～14：30

場所：オンライン開催

出席：委員 17 名、オブザーバー 1 名

議 題：

1. 2023（令和 5）年度、及び 2024（令和 6）年度上半期の活動報告について
2. マルチリンガル教育科目に関するアンケート結果等について

「高学年次の外国語教育」を主なテーマとして、またマルチリンガル教育科目一般について、事前に行ったアンケートの結果を共有し、第 1 外国語、第 2 外国語・グローバル理解の項目について各担当委員からコメントがあり、あわせて学部委員から、その場で挙げられた高学年時の英語学習に関する要望や開講形態、第 2 外国語のクラスサイズ差の適正化についての意見なども含めて、種々意見交換を行った。

●国立七大学外国語教育合同シンポジウム

2024 年 10 月 25 日（金）、国立七大学（北大、東北大、東大、名大、京大、阪大、九大）外国語教育連絡協議会に参加した。当番校は北海道大学でオンラインでの開催となった。当番校が提案した協議題「初修外国語教育の現状と展望」の下、各大学がカリキュラムの現状や工夫、今後の課題について報告し、意見交換を行った。大阪大学からは、人文学研究科言語文化学専攻里内克巳副専攻長、マルチリンガル教育センター小杉世センター長、マルチリンガル教育センターの初修のカリキュラム委員の中から、王周明教授（中国語）と中村綾乃准教授（ドイツ語）の計 4 名が参加し、中村綾乃准教授が大阪大学の初修外国語のカリキュラムの現状とこれまでの経緯、今後の課題について、資料に基づき報告し、質疑応答で意見交換を行った。

●第 9 回豊中地区研究交流会

2024 年 11 月 22 日開催の標記の研究交流会に部局として参加し、下記の発表を行った。

発表タイトル：「OU マルチリンガルプラザにおける課外での自律的な多言語・多文化学習支援の取り組み」

キーワード：自律学習、多言語学習、SALC、学習支援

発表者：安部麻矢（マルチリンガル教育センター）・瀬井陽子（国際教育交流センター）